

異文化交流フォーラム
**「狛江の中の外国、
ちょっとのぞいてみませんか？」**
実施報告書

平成 29 年度行政提案型市民協働事業
「東京オリンピック・パラリンピックを活用した取組み」

狛江市平和祈念事業実行委員会／狛江市

平成 30 年 3 月

◆事業実施目的

オリンピック・パラリンピックの東京での開催には多くの市民が感心を寄せており、改めて国や人種を超えた平和の大切さを考え、国際交流を進める機会となるとともに、狛江のシティセールス、地域活性化につながる取組を行う。

◆主催

狛江市平和祈念事業実行委員会／狛江市

◆事業形態

狛江市平和祈念事業実行委員会と狛江市との市民協働事業
(平成 29 年度行政提案型市民協働事業)

東京オリンピック・パラリンピックが開催される 2020 年は、狛江市制施行 50 周年の大きな節目の年である。この節目にいかに効果的な取組を展開できるかが課題となる中、市民目線で事業を企画することによって、新たな発想や視点を盛り込んだ事業を展開する。

◆実行委員会メンバー

実行委員長	宍戸 泉
副実行委員長	加藤 枝美子
副実行委員長	栗山 健一
	雨宮 法男
	今田 緑
	菊池 正明
	関 幸一
	田中 映子
	西山 偕子
	松坂 雄一
	松本 和美
	宮原 和美
	谷田部 和恵
	若柳 善朗

◆委員会開催概要

日時	場所	内容
平成 29 年 5 月 9 日（火） 午後 7 時～	防災センター403 会議室	・ 日程について、他
平成 29 年 9 月 28 日（木） 午後 7 時～	特別会議室	・ フォーラム名の検討 ・ パネリストへの質問内容 ・ 広報について、他
平成 29 年 11 月 16 日（木） 午後 7 時～	特別会議室	・ フォーラムの進行について ・ 役割分担について、他
平成 30 年 2 月 20 日（火） 午後 7 時～	特別会議室	・ フォーラムのふり返り、他

異文化交流フォーラム

狛江の中の外国

ちょっとのぞいて

みませんか？



- ◆開催日時 平成 29 年 12 月 10 日（日）午後 2 時～ 4 時
- ◆開催場所 中央公民館地下ホール
- ◆参加人数 45 人（うち、小学生以下 5 人）
- ◆参加費 ひとり 300 円（外国のお菓子詰め合わせを配布）
- ◆託児利用 2 人（子ども室にて）

◆プログラム

14:00 開演

◇副市長挨拶◇

狛江市副市長 水野 穰

◇実行委員長挨拶◇

狛江市平和祈念事業実行委員長 宍戸 泉

14:10 <第一部> パネルディスカッション

15:00 休憩

15:10 <第二部> グループディスカッション①

15:30 グループ替え

15:35 <第二部> グループディスカッション②

16:00 閉会



◆第一部 パネルディスカッション

狛江市近郊に住む外国人9名にパネリストとして登壇いただき、それぞれの国の文化や生活について、また東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて地域はどうするべきかといったお話をうかがいました。



・・出演いただいた皆さん（左から）・・

バリー・ミラーさん（カナダ出身、日本滞在20年）

バブハディア・アネッテさん（ドイツ出身、日本滞在3年）

ニコラ・シニョルさん（フランス出身、日本滞在1年未満）

レオン・スミスさん（イギリス出身、日本滞在2年）

新井 翔さん（イギリス出身、日本滞在21年） ※ディスカッションの進行を担当

レ・ゴック・ジェム・チャウさん（ベトナム出身、日本滞在1年半）

ナタリア・リセンコさん（ウクライナ出身、日本滞在7年）

宮本 ヒルさん（ブラジル出身、日本滞在通算17年）

バリー・ベイトマンさん（オーストラリア出身、日本滞在18年）

<パネルディスカッション・主な内容>

Q：日本の食べ物は好き？

A：（チャウさん）そばや天ぷらも好き。一番好きな食べ物はカレー。ベトナムのカレーは日本より辛い。ベトナムの有名な食べ物はフォー。今は日本でもフォーを食べられるお店がたくさんある。

A：（ニコラさん）日本人は食事にかかる時間が短いですが、フランス人は皆で話しながら食べるので食事にかかる時間が長い。いわゆるフランス料理のフルコースのような食事は家庭ではなくレストランで食べる。

A : (アネットさん) ヨーロッパでは白米をそのまま食べることはない。日本人は白いご飯を何もかけずに食べるので驚いた。



Q : 日本の家の造りで驚いたことは？

A : (ナタリアさん) 日本の家は寒くて朝ベッドから出られない。ウクライナの冬はとても寒いので、家の中はセントラルヒーティングでどの部屋にいてもあたたかくなっている。それから日本では家族が皆同じお湯に浸かることに驚いた。最初は知らずに1回1回お湯を替えていた。

A : (ミラーさん) 日本の家は寒い。カナダの冬はマイナス 30℃くらいになるが、家の中は 25℃くらいに保たれている。外国人は靴は履いたまま家に入る習慣があると思われるが、家の中では靴を脱ぎなさいと言う家庭もある。雨が多い地域は靴がぬれているのでそのまま家に入ることはしない。

Q : 日本にきて一番驚いたことは？

A : (レオンさん) 女の子がビールを飲んでいることに驚いた。イギリスでは女性はあまりビールを飲まず、カクテルやワインを飲む。

A : (バリーさん) 日本人は夜 10 時まで働いている。そして子どもも夜遅くまで塾に通っていることに驚いた。

A : (ヒルさん) 電車がとても便利なことに驚いた。ブラジルでは車移動が主であり、電車ではあまり遠くへ行けない。

Q : 日本の交通機関はどうか。

A : (チャウさん) 最初は面倒だと思ったが、今ではとても便利だと思う。ベトナムでは皆家の近くで働いているが、日本人は遠くまで通勤しているので驚いた。

A : (ナタリアさん) 日本人は電車が来るまできちんと並んで待っているのも、とてもいいと思う。ウクライナでは小さいバスはバス停以外にも手をあげれば止まってくれる。降りる時は自分で降りることを伝えないと降りられないので、旅行者には難しいと思う。

A : (ミラーさん) カナダでは、都市部を除き、バスはあまり走っていない。車で移動する。

A : (アネットさん) ドイツではバスは時間通りに来ない。電車も、最近では時間通りに来ないが、以前はそうでもなかった。ドイツ人は時間を守るというイメージがあるが、そうでもない。日本人は毎朝満員電車で1時間も過ごしていて、とても大変だと思う。東京は人が多いので電車が多くても混んでしまうが、ドイツは人が少ないので満員電車はない。

Q：オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、日本が良くすべきことは？

A：（ニコラさん）英語や他の外国語を習ってほしい。英語は観光のためにも大事だと思う。外国人の自分が日本語で話そうとがんばっているのに、日本人はノーイングリッシュ、と一歩ひいてしまう。

A：（ミラーさん）日本の文化はとても保守的。日本人は礼儀正しいが、コミュニケーションを取ろうとする姿勢が大切だと思う。英語ができなくても、ジェスチャーや簡単な単語だけでも伝えることができる。「カップ」や「ペン」など、日本語と英語で同じ発音の単語は2万語もある。皆もう英語がしゃべれる！がんばって。



◆第二部 グループディスカッション

出演者、来場者を5つのグループに分け、より詳しくそれぞれの国についてお話を聞きました。写真を見ながら国の食べ物や文化の話を聞いていたグループ、2020年に向けて外国語を勉強しようと奮起したグループなど、熱心に話し合いが進みました。



◆フォーラム参加者アンケート

1、本日の事業についての感想をお聞かせください。

1. 大変良かった	22
2. 良かった	11
3. 普通	0
4. 良くなかった	0

- ・いろいろな国のゲームや手遊び、歌を歌ったりするのも良いのでは？一緒に食べながら飲みながら話すと、より和むと思います。
- ・リラックスして外国の方々と話ができて、聞くことができました。又、アジア系の中国、韓国の方にも参加していただけたらと思いました。
- ・前半は、スマホで写真を撮っている方、何度も繰り返し撮っている方、ピコピコ音が常に鳴っていて集中してお話をうかがえません！スタッフの方に注意していただきたかった。パネラーにも失礼では。
- ・もっと回数を多く、時間も長く。
- ・楽しかった～！スポーツでコミュニケーションをとるといいと思う。わたしのクラスでは、帰りの会に英語でじゃんけんして帰ります。ゲームなどもコミュニケーションをとる一つのしゅだんではないでしょうか。
- ・異文化交流としてよかった。別の機会に市内在住の外国人、アジア系外国人を増やした企画ものぞみます。
- ・とてもすばらしい機会でした。ただ、時間が足りなかった（特に第一部のQ&Aの時間が少なかったのは残念です）。次回は少なくともあと1時間ほしいと思いましたので、年に1回だけでなく少なくとも年2～3回開催してほしい。
- ・グループディスカッションで、たくさんの異文化のお話がきけてとてもよかったです。距離も近くて、テーブルで話せたのがとてもよかったです。パネルディスカッションを短めにして、グループで話す時間をもっと取っていただけたら、たくさんの方と話せて、とてもよいと思います。
- ・日本は、こうしたほうが良い等な事ありますか？の間に、外国語、英語などの日本語以外が出来れば良い。オリンピックのためにもネ、という答えに、私の心になにか不思議な感じというか、そうだろうと同感しました。
- ・司会の方の進行がとても良く、パネラーの皆さんもお気持ちのこもったお話をして下さい、とてもためになりました。ボランティアで英語通訳者がいたらよかったかもしれません。
- ・外国の方と触れ合う機会がなかったのでとてもおもしろかったです。
- ・外国のことを生でお聞きすることができ、とても勉強になりました。楽しかったです。

- ・外国人の方々の実体験の話を本人から聞いたことがよかった。
- ・受付開始時刻がはっきりしているとよかった。進行について、もう少しスムーズだとよい。
- ・様々な国の方が参加されてとてもよかった！
- ・狛江市に住んでいる外国人の方と交流できて楽しい時間を過ごすことができました。
- ・グループディスカッションの時間を増やしてほしい。
- ・グループにわかれて少人数でおしゃべりできて楽しかった。
- ・たのしくお話できました。ありがとうございました。
- ・多くの国の人の参加があってとてもよかった。グループディスカッションはやかましくてよく聞こえないのでよくなかった。人数と距離をもっと考えるとよい。

2、本日の事業をどちらでお知りになりましたか。(複数回答可)

1. 広報こまえ	12
2. 狛江市ホームページ	4
3. フェイスブック・ツイッター	3
4. ポスター	6
5. チラシ	2
6. 知人の紹介	7
7. その他	9

* 4. ポスター掲示場所：市役所、二の端交差点付近

* 7. その他：おもてなし語学ボランティア育成講座受講者へのメール、国際交流協会主催「国際交流サロン」・「こまぐりっしゅ café」にて

3、回答者自身について

<性別>

男性	9
女性	23

<年齢>

1. 20歳未満	1
2. 20代	3
3. 30代	5
4. 40代	3
5. 50代	4
6. 60代	9

7. 70代	8
8. 80歳以上	0

<職業>

1. 学生	2
2. 会社員	7
3. 自営業	2
4. 公務員	2
5. 無職	12
6. その他	8

<住まい>

1. 狛江市内	32
2. 市外	2

◇東京オリンピック・パラリンピックに向けて、市に期待すること等ありましたら、お聞かせください。

- ・私の子どもは、馬術競技が行われるスポーツ少年団で活動しています。馬の手入れ、乗馬、「軽乗」活動、イベントのある日にホースショーで軽乗を披露しています。現在はオリンピック準備で閉苑中のため、府中スポーツ少年団で活動中です。2020オリパラでも、競技の合間にショーがあれば披露することがあるかもしれません。狛江の子どもがオリパラで活躍できるよう、応援してください。
- ・いろいろな市民レベルの会を（気軽に参加できる）何回も催していただけると、自然な形で市民参加の意識が芽生えると思います。
- ・みんなコミュニケーションをもとめているから、コミュニケーションをとれるようにしたらいいと思う。
- ・東京都は在住外国人との共生指針を発表しています。市内在住の外国人に向けた施策をのぞみます。（相談窓口、かんたんなアンケート、こんだん会 etc.）「英語、中国語、韓国語の入った狛江の便利帳」はいい施策でした。
- ・ゲストハウス、民泊などの情報があれば知りたいです。外国人の友人が東京に泊まって、自転車などで動いてまわりたいということで、近隣情報などもあれば知りたいです。
- ・1人でも外国語を話せる人がふえますように願ってます。
- ・絵手紙のワークショップを英語、中国語、スペイン語などで開催。
- ・ボランティアの情報を細かく教えてほしい。

- ・交流会の中で、簡単な英会話もできたら嬉しい。
- ・wifi がどこでも使えるようにしたい。
- ・あまり時間がとれない生活をしておりますので、それでもできないことがないかお知らせ願いたいと思います。
- ・世界との交流をおおいに促進するため、多くのイベントを開催してほしい。海外の人が市内に来ることが出来る施設を作してほしい。
- ・狛江在住外国人に訪日外国人のおもてなしをしてもらう。

◆まとめ

多くの外国人が日本を訪れる東京オリンピック・パラリンピックに向けて、まずは狛江で生活する外国の方の話を聞いてみたいという思いから、「異文化交流フォーラム ―狛江の中の外国、ちょっとのぞいてみませんか?―」を企画・開催した。外国人に対するハードルを下げたいという思いはフォーラムのタイトルにも反映され、親しみやすいネーミングとなった。

アジア、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアなど8ヶ国から集まったパネリスト9人からそれぞれの国の文化や生活について話を聞くと、日本との違いに驚くことが多く、もっと色々なことを聞いてみたいと積極的に質問する参加者も多かった。写真や実物を見せながら自国の紹介をしてくれたパネリストがいたり、参加者に配布した各国のお菓子が懐かしいと話すパネリストもいた。

来場者アンケートから、幅広い年代の人に参加いただいたことがわかる。また、来場のきっかけも様々で、異文化交流への関心の高さがうかがえた。第2回を期待する声や、歌やダンス、ゲームなどを取り入れたらもっと楽しかったのではという声もあった。

今回の異文化交流フォーラムを通じて、市民の東京オリンピック・パラリンピック、そして異文化交流に対する関心の高さを感じることができた。2020年に向けて、市民の力を活用し、狛江市が更なる盛り上がりを見せることを期待したい。

平成 29 年度行政提案型市民協働事業
「東京オリンピック・パラリンピックを活用した取組み」
実施報告書
平成 30 年 3 月発行

狛江市平和祈念事業実行委員会／狛江市

狛江市企画財政部政策室協働調整担当

TEL 03-3430-1164（直通）

FAX 03-3430-6870

Email kyodot@city.komae.lg.jp